

| | | | | | | | |
|------------------------|--|--|--|---|---|--|---------|
| 科目名 | 科学技術英語 | 英文表記 | English for Science and Technology | | 23/02/2015 | | |
| 科目コード | 5004 | | | | | | |
| 教員名:星野恵里子 技術職員名:N/A | | | | | 作成 | | |
| 対象学科/専攻コース | | 学年 | 必・選 | 履修・学修 | 単位数 | 授業形態 | 授業期間 |
| 全学科 | | 5年 | 必 | 学修 | 2単位 | 演習 | 後期 |
| 科目目標 | 科学技術分野に関連する記事、論文、図書等を、英語を通して学ぶことにより、四技能の更なる育成を図る。 | | | | | | |
| 総合評価 | 学年末評価は、前期・後期の定期試験50%+英語による debate(原稿15%+発表15%)30%+毎回のquiz20%で換算し、60%以上を合格とする。 | | | | | | |
| 科目目標達成度とJABEE目標との対応 | 目標割合 | 科目達成度目標(対応するJABEE教育目標) | 達成度目標の評価方法 | ルーブリック | | | |
| | | | | 理想的な到達レベル | 標準的な到達レベル | 最低限必要な到達レベル | セルフチェック |
| | 40% | ① 英語で書かれた専門分野に関する論文やマニュアルなどばかりでなく、時事問題や一般常識・教養を扱う文章を、正確に理解できる。 (MS:C-5f) (IC:C-1) (MI:C-3f) (BR:C-2f) | 正しく読めるか、定期試験及び講義中でのクイズで評価する。 | 専門分野に関する論文やマニュアルなどを、辞書を用いずに正確に理解できる。未習の構文や単語などは既習事項から推測して読める。 | 専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を、辞書を用いて理解できる。 | 専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を、辞書を用いて断片的に理解できる。 | |
| | 15% | ② 英語で話された専門分野に関する事項ばかりでなく、時事問題や一般常識・教養を問われる事項を正確に聞き取ることができる。 (MS:C-5f) (IC:C-1) (MI:C-3f) (BR:C-2f) | 正しく聞けるか、ディベートの質疑応答などで判断する。 | ナチュラルスピードで話される専門分野に関する内容について、正しく理解できる。質疑応答時に予想外の時効が話されても正しく聞き取れる。 | 専門分野に関する内容について、はっきりとした発音で話されれば理解できる。 | 専門分野に関する内容について、はっきりした発音で何度か話されれば断片的に理解できる。 | |
| | 15% | ③ 専門分野に関する事項ばかりでなく、時事問題や一般常識・教養を反映する事項を英語で正確に話すことができる。 (MS:C-5f) (IC:C-1) (MI:C-3f) (BR:C-2f) | 正しく話せるか、ディベートのパフォーマンスで評価する。 | 専門分野に関して、自然な英語でプレゼンテーションやスピーチを行い、「内容に関してやり取りをすることができる。 | 専門分野に関して、平易な英語でプレゼンテーションやスピーチを行うことができる。 | 専門分野に関して、時々つかえながら英語でプレゼンテーションやスピーチを行うことができる。 | |
| 30% | ④ 専門分野に関する事項ばかりでなく、時事問題や一般常識・教養を反映する事項を英語で正確に書くことができる。 (MS:C-5f) (IC:C-1) (MI:C-3f) (BR:C-2f) | 正しく書けるか、定期試験及び講義中でのクイズ、ディベート原稿で評価する。 | 専門分野に関するプレゼンテーションやスピーチ用の英文原稿や英文資料を、自然な英語で書くことができる。また、書いたものに説得力がある。 | 専門分野に関するプレゼンテーションやスピーチ用の英文原稿や英文資料を、基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。 | 専門分野に関するプレゼンテーションやスピーチ用の英文原稿や英文資料を、時折不適切な表現を交えながらも書くことができる。 | | |

| | | | | | | | | | |
|---------------------------------|--|------|------|------|----------------------|----------|------------|----------|--------|
| 本科・専攻科教育目標 | 1 | 2 | 3 | 4 | JABEEプログラム名称 | 機械システム工学 | 情報通信システム工学 | メディア情報工学 | 生物資源工学 |
| | ◎ | ○ | | ○ | JABEEプログラム教育目標 | C-5 | C-1 | C-3 | C-2 |
| 評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合 | | | | | | | | | |
| | 目標との関連 | 定期試験 | 小テスト | レポート | その他(演習課題・発表・実技・成果物等) | 総合評価 | セルフチェック | | |
| 評価項目 | | 50 | 20 | 0 | 30 | 100 | | | |
| 基礎的理解 | | 30 | 20 | | | 50 | | | |
| 応用力(実践・専門・融合) | | 10 | | | | 10 | | | |
| 社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL) | | | | | 20 | 20 | | | |
| 主体的・継続的学修意欲 | | 10 | | | 10 | 20 | | | |
| 授業概要、方針、履修上の注意 | <p>専門分野に関する論文等を講読する。 あるテーマに関してディベートをする。ディベートチームは各研究室ごととする。</p> | | | | | | | | |
| 教科書・教材 | <p>プリント使用。英和辞典・和英辞典・英英辞典など。</p> | | | | | | | | |

| 授 業 計 画 | | | | | |
|---------|---------------------|----|---|-----------------------|-----------------|
| 週 | 授 業 項 目 | 時間 | 授 業 内 容 | 自学自習 (予習・復習)内容 | セルフ チェッ ク |
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |
| 11 | | | | | |
| 12 | | | | | |
| 13 | | | | | |
| 14 | | | | | |
| 15 | | | | | |
| 期末 | 期末試験 | | | | |
| 16 | オリエンテーション | 2 | 教材紹介。ディベート概論。ディベートチーム編成。 | 教材の予・復習 | |
| 17 | 英文演習とディベート準備、およびクイズ | 2 | 科学技術論文講読。ディベートテーマに関する資料講読。 | 教材や資料の予・復習 | |
| 18 | 英文演習とディベート準備、およびクイズ | 2 | 科学技術論文講読。ディベートテーマに関する資料講読。 | 教材や資料の予・復習 | |
| 19 | 英文演習とディベート準備、およびクイズ | 2 | 科学技術論文講読。ディベートテーマに関するproとcon。 | 教材の予・復習 ディベートテーマ考察 | |
| 20 | 英文演習とディベート準備、およびクイズ | 2 | 科学技術論文講読。ディベートテーマに関するproとcon。 | 教材の予・復習 ディベートテーマ考察 | |
| 21 | 英文演習とディベート準備、およびクイズ | 2 | 科学技術論文講読。ModeratorとTime keeperを決める。 | 教材の予・復習 | |
| 22 | 試験対策 | 2 | 前期中間試験対策。 | 中間試験対策 | |
| 23 | 後期中間試験(行事予定で変更可) | 1 | 後期中間試験 | | |
| 24 | 英文演習とディベート準備、およびクイズ | 2 | 試験返却と科学技術論文講読。対戦チームを決める。 | 教材の予・復習 | |
| 25 | 英文演習とディベート準備、およびクイズ | 2 | 科学技術論文講読。Constructive speechとSummary原稿作成。 | 教材の予・復習 ディベート原稿作成 | |
| 26 | 英文演習とディベート準備、およびクイズ | 2 | 科学技術論文講読。Cross-examinationとRebuttal対策。 | 教材の予・復習 ディベート原稿作成 | |

| | | | | |
|--|-------------------------|----|-----------------------|-------------------------------------|
| 27 | 英文演習とディベート準備、 およびクイズ | 2 | 科学技術論文講読。ディベートルリハーサル。 | 教材の予・ 復習 ディベート 原稿作成 |
| 28 | ディベート | 2 | ディベート。 | ディベート 資料作成 スピーチ練 習 作戦会議 |
| 29 | ディベート | 2 | ディベート。 | ディベート 資料作成 スピーチ練 習 作戦会議 |
| 30 | ディベート | 2 | ディベート。 | ディベート 資料作成 スピーチ練 習 作戦会議 |
| 31 | 試験対策 | 1 | 期末試験対策。 | 期末試験 対策 |
| | 期末試験 | 2 | 後期期末試験 | |
| 学習時間合計 | | 30 | 実時間 | |
| | | | 22.5 | |
| 自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証) | | | | 標準的所用時間(試行) |
| ① | 科学技術論文講読・単語・イディオムの習得。 | | | 各2時間×30回 |
| 備考欄 | | | | |
| (共通記述) ・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述) ・ この科目の主たる関連科目は電子回路I・II(3年)、集積回路I(4年)、集積回路II(5年) その他必要事項は各コースで決める。 | | | | |

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)